











高砂 Takasago 加古川市街 Central Kakogawa  
稲美 Inami  
18  
84

加古川市  
Kakogawa City



大型車直進  
して下さい







**水教育**

### 二水作

## 亀井堰

【亀井堰】は、濃尾平野の平野部に所在する歴史的な堰で、現在も農業用水の供給に重要な役割を果たしています。この堰は、江戸時代初期に築かれたもので、その構造は非常に巧みで、洪水時には水を溜め、平常時には水を流すことができます。この堰は、地域の歴史と文化を伝える重要な遺産であり、また、自然環境を保全するための重要な施設でもあります。

この堰は、地域の歴史と文化を伝える重要な遺産であり、また、自然環境を保全するための重要な施設でもあります。

この堰は、地域の歴史と文化を伝える重要な遺産であり、また、自然環境を保全するための重要な施設でもあります。

# ● 亀井堰

三木市

「亀井堰」は、美囊川の下流加古川合流口の直上流に位置し、文化13年（1816）ごろ、当時の国包村及び船町村・宗佐村の畑地の灌漑用水を取水し、水田化するために作られた井堰です。堰の構造が割石を亀の背状に丸く積立していることから「亀の井」と呼ばれるようになったといわれています。嘉永7年（1854）の「亀堰之碑」によると、『往昔滝野川（加古川の別称）は国包の東にあったが、嘉禄年間（1225～26）に決壊して西側に移り、国包の田地は砂礫で埋まった』とあり、洪水によって流路が変わり集落が二分され東西に隔てられたようです。また、国包村は度重なる加古川の氾濫だけでなく、5日も日照りが続くとツルベで朝夕灌漑をしなければならなかったといわれております。この窮状を救うため、畑平左衛門（平六）が美囊川に“井堰”を設け導水する計画を提唱、文化13年（1816）に完成させたのがこの井堰です。なお、現在では取水の安定と合理化をはかるため、近代式頭首工に改修されています。



- 所在地：三木市別所町正法寺
- 河川名：加古川・美囊川
- アクセシビリティ：山陽自動車、三木小野I.Cまで車で10分

● 周辺地図

# 亀井堰

「亀井堰」は、美囊川の下流加古川合流口の直上流に位置し、文化13年（1816）ごろ、当時の国包村及び船町村・宗佐村の畑地の灌漑用水を取水し、水田化するために作られた井堰です。堰の構造が割石を亀の背状に丸く積立していることから「亀の井」と呼ばれるようになったといわれています。嘉永7年（1854）の「亀堰之碑」によると、『往昔滝野川（加古川の別称）は国包の東にあったが、嘉禄年間（1225～26）に決壊して西側に移り、国包の田地は砂礫で埋まった』とあり、洪水によって流路が変わり集落が二分され東西に隔てられたようです。また、国包村は度重なる加古川の氾濫だけでなく、5日も日照りが続くとツルベで朝夕灌漑をしなければならなかったといわれております。この窮状を救うため、畑平左衛門（平六）が美囊川に“井堰”を設け導水する計画を提唱、文化13年（1816）に完成させたのがこの井堰です。なお、現在では取水の安定と合理化をはかるため、近代式頭首工に改修されています。



- 所在地：三木市別所町正法寺
- 河川名：加古川・美囊川
- セス





































水の新百景  
三木市

亀井堰まで

150m



150m 亀井堰





きりん!!  
あそびの  
あそびの  
あそびの  
あそびの







亀の井頭首工

改築記念碑

農林水産省 呑吐ダム  
正法寺放流警報局(No.27)





























